

第1期生 弘前学院大学文学部英語・英米文学科 1年 (東奥義塾高校卒) 澤田 くるみさん

「お店を探しやすいマップを
観光客や市民のために作成したい！」

高校在学中、専攻コースで地域活動やまちづくり活動に取り組み、商業施設に服飾のポップアップ・ストア^(※1)を実際に開店した経験があります。

第1期のSTEPでは、弘前の喫茶店や服屋、カフェなどをお店の種類ごとにまとめ、観光客や市民がお店を探しやすいマップを制作しようと奮闘しましたが、卒業までに完成させることができず、とても悔しかったのを今でも覚えています。STEPを卒業した現在は、独自にこのマップの作成を継続し、店舗の情報収集などを行っています。今年中には1つの種類を、大学在学中には全てのお店を完成させることができます。第2期生のみんなには「楽しく、楽に、自分と向き合って」地域のことを学んで欲しいです。早く仲間と打ち解け、お互いを認め合って活動できるよう願っています。期待しています！

(※1) …空き店舗やその一部を利用して期間限定で出店する形態の店舗

第2期生 弘前中央高校 2年 小笠原 未奈さん

「高齢者がいろいろな世代の人と交流しながら
集える居場所を作りたい」

学校に掲示されていた第2期生募集のチラシを見た時に、「自分が住んでいる地域のことを全然知らない。改めて弘前というまちを知りたい」と考え、参加しました。

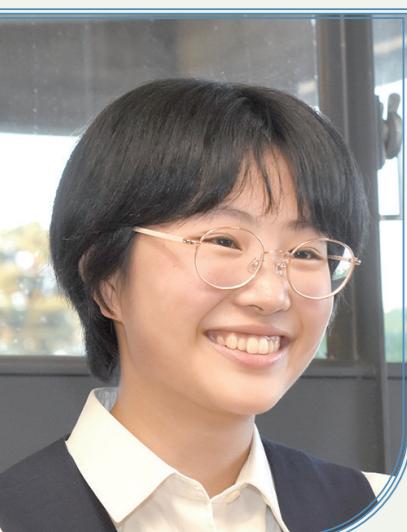
私は、高齢者が気軽に集って話をしたり何かを作ったり、いろいろな世代の人たちと交流できる居場所を作りたいと考えています。私にとってのまちづくりは、地域をただ活性化するだけでなく、住みやすいまちにする取り組みだと考えています。まずは、第2期生の仲間のことを早く覚え、表面上ではなく、お互いに深いところを掘り下げ合って、本音で話し合いたいです。不安はありません！これから活動が楽しみでわくわくしています。

第2期生 弘前高校 2年 本多 佳野さん

「SDGs^(※2)を軸に、
若い世代が地方に住みたいと思えるまちにしたい」

第1期生の友人からSTEPの存在を教えてもらって、今回から参加しました。地方創生に興味があって、都会への一極集中ではなく、地方で若い世代がいきいきと住み続けられるまちづくりのために行動したいと考えています。

STEPでは、たくさんの地域の大人の話を聞き、自分事として課題感を持ってアイデアを実現させることが目標です。具体的には2つの企画があって、1つめは排気ガスの削減と住んでいるまちの再発見を目的とした「バスに乗ろう！」という企画、2つめは駅などの人が集まる場所に、地域の人が考えるまちづくりのアイデアを紙に書いて実らせ、それを収穫して実現させる「アイデアアップルの木」があります。これらの中学生の時から書き留めてきたアイデアを生かして、人と地域、人と人がつながることができる取り組みをしたいです。まずは、自分が外に出て弘前というまちを深く知ることから始めます。



(※2) …2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標 (Sustainable Development Goals)



Heart Lighting Station HIROSAKI



STEP運営事務局
(コーニングスペース
HLS弘前)
辻 正太さん

一を見ていると、自らの意志で踏み出す勇気が素晴らしいなど改めて感じています。

学生たちが自分自身を見つめ直して、その中でそれぞれのアイデアをプロジェクトとして具現化させるサポートをすることで、それが結果的に地域社会につながっていけば最高ですね。

「答えの無い問いに立ち向かう苦しさ、大変さを学べた。活動によって自分自身が成長するとしてもよい機会になった」という、第1期生のメンバーの言葉が深く印象に残っています。STEPでの経験が何かの役に立つ日は、もしかしたら遠い未来かもしれない。それでも今後、何かを立ち上げる時に、その難しさを体感したこと、プロジェクトに携わる人に優しく、寛容になれるかなと思います。

「未来を切り拓くサポートをしたい」

STEPの活動拠点となるコーニングスペースHLS弘前は、平成29年4月にオープンし、今年4周年を迎えるました。私は、教員として11年間子どもたちと熱い毎日を送っていましたが、「学校の中だけでは、これから時代を生き抜く人材を育て切ることができない」という思いからこの場所を立ち上げました。HLS弘前は、いわば「まちの学校」として、地域の人や団体の学び・成長をさまざまな角度からサポートし、誰もが自由に学び、自ら未来を切り拓いていく社会を創る手助けの場であり続けたいと考えています。

そんな理念に共鳴するSTEPの活動は今年で2年目となりました。5月に迎えた新たなメンバー

第2期生への
Message

皆さんのがまちのことを知ろうとしていることに感謝しています。1年間の活動を通して何かを学び、豊かな経験を積んで欲しいです。わくわくしながら一緒に活動ていきましょう！



「まち」と「自分」を見つめなおす。
ここで学んだことは、
次のSTEPにつながる
原動力になる。
歩き出そう。

大人になるために。